

歴史遺産コースの佐藤准教授の研究室が 県内 2 遺跡の発掘調査を実施 9/9(水)から調査を行い 最終日には地域住民向けに調査成果説明会を開催

東北芸術工科大学（山形市上桜田／学長 中山ダイスケ）歴史遺産学科 歴史遺産コースの佐藤祐輔 准教授の研究室では、昨年度、山形県内 2 つの縄文時代晩期から弥生時代の遺跡で試掘調査を行いました。その成果をもとに、今年度、「東根市蟹沢熊野堂遺跡」と「尾花沢市谷地橋遺跡」の発掘調査を、9 月 9 日（水）から 9 月 18 日（金）までの期間に 8 日間にわたり本格的に行い、遺跡の実態解明を進めます。

【東根市蟹沢熊野堂遺跡】は、縄文時代晩期の重要な遺跡として 1950 年代頃にすでに認識されていました。これまでに多くの土器や石器のほか、骨角器などが出土し、県内を代表する縄文時代晩期から弥生時代の遺跡として知られています。今回の調査では、市指定文化財である異形注口土器の発見推定地の発掘調査を行い、出土地点の特定を目指します。

【尾花沢市谷地橋遺跡】は、過去に地域住民によって弥生土器が採集されていながらも、発掘調査が行われていなかったため、その実態が分からない弥生時代の遺跡でした。昨年度、本学で試掘調査を行ったところ、弥生時代の土器や石器、遺構などが確認されました。県内陸部における水田稲作などの農耕文化の受容を知る上で重要な遺跡と考えられます。

両遺跡の重要性や発掘調査の成果について、多くの方に知っていただく機会として、本取り組みの取材・広報のお願いを申し上げます。

■東根市蟹沢熊野堂(かにさわくまのどう)遺跡

【目 的】「異形注口土器」（市指定文化財）出土地点と遺跡形成過程の確認

【期 間】2026 年 9 月 9 日（水）～9 月 11 日（金）

【住 所】山形県東根市蟹沢 1555

【調査者】阿部明彦（山形考古学会会長）、東北芸術工科大学 歴史遺産学科 歴史遺産コース

【その他】「小田島地区の歴史を勉強する会」会員と共同で調査を行います



昨年度の発掘調査の様子



異形注口土器(東根市 HP より転載)

■尾花沢市谷地橋(やちばし)遺跡

【目 的】縄文/弥生移行期における県内陸部の農耕社会形成過程の解明

【期 間】2026 年 9 月 14 日 (月) ～9 月 18 (金)

【住 所】山形県尾花沢市細野字川前など

【調査者】尾花沢市教育委員会

(尾花沢市からの受託研究として、東北芸術工科大学 歴史遺産学科 歴史遺産コースが実施)

【その他】9 月 18 日 (金) 11:00～地域住民向けに調査成果説明会を開催予定



昨年度の発掘調査の様子



出土した弥生土器(高坏)